



令和5年度決算で見る 米原市のお金の使い道

市議会第3回定例会で令和5年度の一般会計、特別会計および公営企業会計の決算を報告し、それぞれ認定されました。市民の皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われたか、概要をお知らせします。

*市民1人当たりの金額は令和6年4月1日現在の人口(37,215人)で算出しています。また、円グラフ内の()は構成比を表しています。

岡市財政課 ☎53-5165 国53-5148

令和5年度一般会計の決算状況

民生費

市民の皆さんの一定水準の生活と安定した社会生活を保障するため、障がいのある方や高齢の方などに対する福祉の充実、子ども手当の支給や子育て支援に使われる経費です。

■ 前年度比：3億4,583万円 ↑増

総務費

市の全般的な管理を行うための事務経費です。市が所有する土地や建物など財産の維持管理、職員の給与、広報に使われます。

■ 前年度比：3億3,845万円 ↓減

土木費

道路や河川、公園などの整備、都市計画などまちづくりのために使われる経費です。

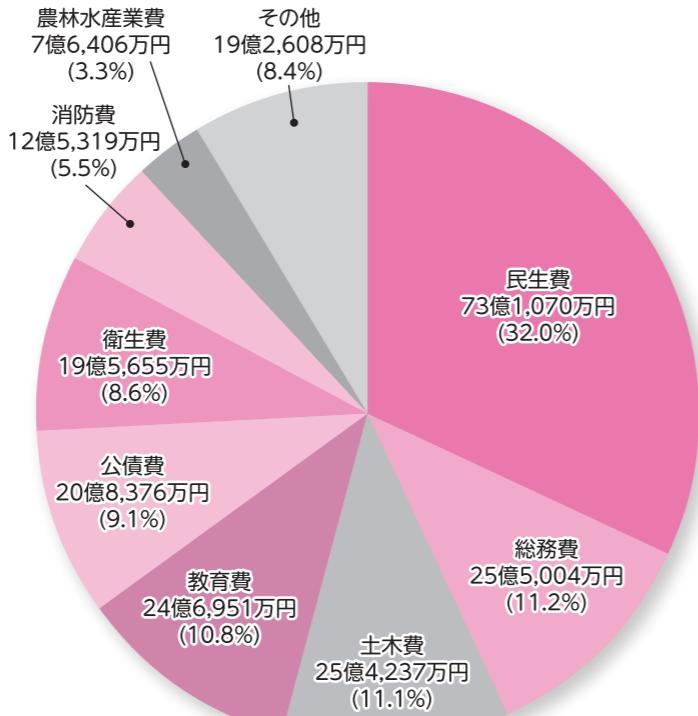
■ 前年度比：9,386万円 ↑増

教育費

教育環境の向上や学校施設の管理、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などのために使われる経費です。

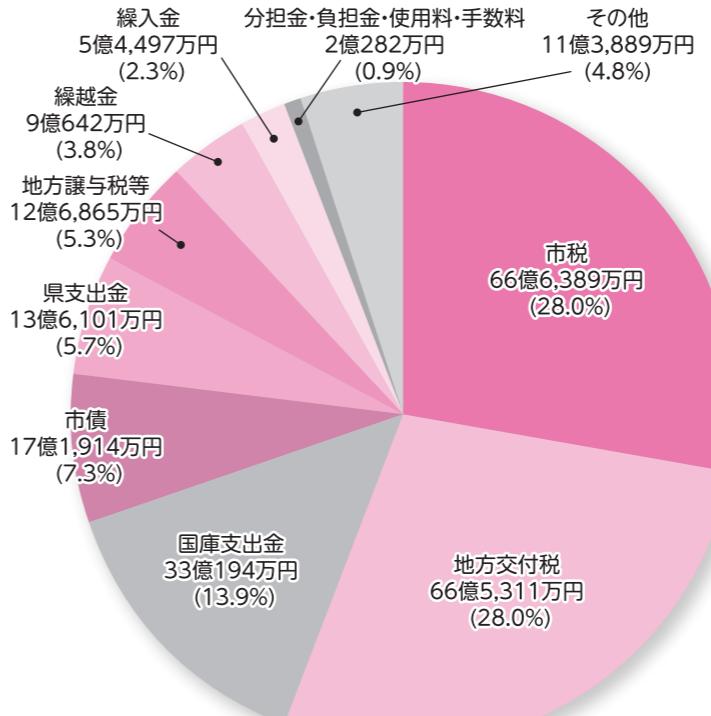
■ 前年度比：1億9,565万円 ↓減

**歳出総額
228億5,626万円**
■ 前年度比：3,291万円 ↑増
市民一人当たり
約61万4千円



一般会計は福祉、教育、公共施設の整備など市の基本的な事業を行うための会計です。

**歳入総額
237億6,084万円**
■ 前年度比：3,107万円 ↑増
市民一人当たり
約63万8千円



Point
令和5年度は、「子ども若者支援」と「まちの価値を創造」をテーマに、人口減少対策を重点的に取り組みました。

このほか、伊吹山の自然環境復元に向けた取り組みや、市民の暮らしに寄り添った物価高騰対策を展開しました。

市税

市民の皆さんに納めていただいた税金で、市の収入の約3割を占める最も重要な収入源です。

■ 前年度比：9,325万円 ↑増

地方交付税

全国どこでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国税および地方税の一定割合を市の財政規模などに応じて配分されるお金です。

■ 前年度比：3億3,877万円 ↑増

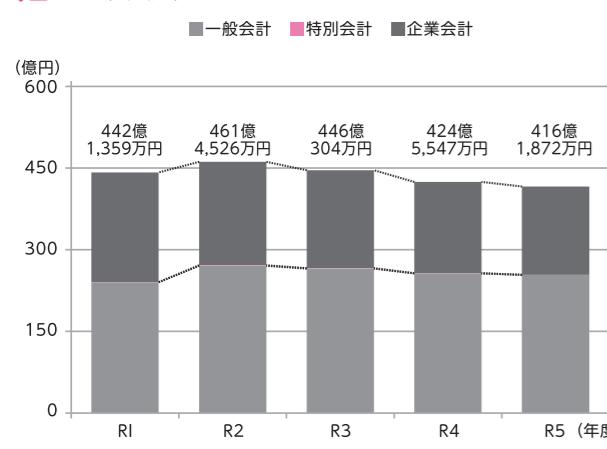
市債

施設や道路の整備など多額の資金が必要な場合に国や金融機関から借り入れるお金です。

■ 前年度比：1億3,731万円 ↑増

借金と貯金のこと

借金(市債)

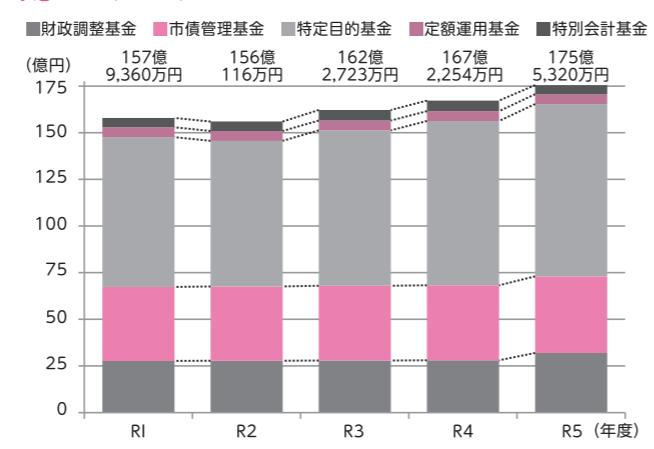


一部の借入が返済終了したこと等により令和4年度から8億3,675万円減少しました。

※返済金の一部が地方交付税で補てんされる有利な市債を優先して借入を行っています。

市民一人当たり
約111万8千円

貯金(基金)



財政調整基金等の積み立て等により令和4年度から8億3,066万円増加しました。

市民一人当たり
約47万2千円

市民の皆さんに納めていただいた税金の決算額は66億6,389万円で、内訳は以下のとおりです。

市民一人当たり
約17万9千円

Pickup

市税のうち、使い道が決められているのが入湯税と都市計画税です。入湯税は環境衛生施設の維持管理や消防施設の整備等に、都市計画税は下水道事業や都市計画事業等の借金返済費に使いました。

市税のこと

▶ 市税決算額内訳

市税内訳	決算額
個人市民税	20億1,107万円
法人市民税	5億3,626万円
固定資産税	35億7,274万円
軽自動車税	1億6,160万円
市たばこ税	2億5,990万円
鉱産税	579万円
入湯税	2,031万円
都市計画税	9,622万円
合計	66億6,389万円
(内訳)現年課税分	66億4,666万円
(内訳)滞納繰越分	1,723万円

▶ 入湯税が使われた事業

事業名	決算額	特定財源	一般財源	うち入湯税
環境衛生施設の維持管理	3,645万円	0万円	3,645万円	730万円
消防施設等の整備	4億6,197万円	4億245万円	5,952万円	1,192万円
観光振興	543万円	0万円	543万円	109万円
合計	5億385万円	4億245万円	1億140万円	2,031万円

▶ 都市計画税が使われた事業

事業名	決算額	特定財源	一般財源	うち都市計画税
下水道事業	1億7,639万円	3億7,578万円	7億9,221万円	9,603万円
市債(都市計画事業等)の返済	9億9,160万円			
合計	11億6,799万円	3億7,578万円	7億9,221万円	9,603万円